

題名：横浜労災病院で脳梗塞・脳出血により入院加療および理学療法を受けた患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	当院における急性期脳卒中患者の転帰先に関連する因子の検討 (-)
当院の研究責任者 (所属)	望月 裕太 (中央リハビリテーション部)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	他の研究機関はありません。
本研究の目的	当院における急性期脳卒中患者の特徴および転帰先に関連する因子を明らかにすることです。これを明らかにし、入院後早期から予後予測および転帰先の検討を可能にし、患者さんのより良好な包括的リハビリテーションにつなげることができます。加えて、当院在院中の退院支援を良好なものにし、在院日数の短縮にもつながる可能性があります。
研究の方法 (利用する試料・情報)	対象者は当院にて脳梗塞・脳出血の診断のもと、2022年6月～2023年3月に入院加療・理学療法を実施された患者さんです。 利用する情報は、基本情報として年齢、性別、BMI、病型（脳梗塞 or 脳出血）、離床開始日数、在院日数、病前の生活状況、転帰先です。また、初期・最終段階の理学療法評価として、生活状況や脳卒中の機能障害、体幹機能などを利用します。これらの情報を、当院カルテより情報を収集し、後向き観察研究を実施します。 研究実施期間は2024年3月以降の倫理委員会で承認され次第開始します。
利用する試料・情報の 該当期間	2022年6月～2023年3月
試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	試料・情報の他の研究機関への提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

(利益相反)	
お問い合わせ先	電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp 担当者：望月 裕太 (所属：中央リハビリテーション部)
備考	